

沖縄県平和祈念資料館友の会 ～結成当時を振り返る～

【沖縄県平和祈念資料館ボランティア養成講座】（平成 16～18 年度実施）

※ 募集要項抜粋

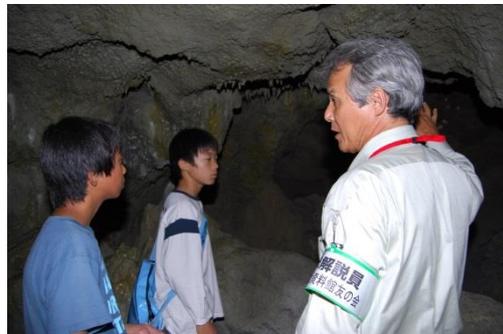
- 主 催： 沖縄県平和祈念資料館
- 目 的： 1945 年 3 月末、激烈な戦火がこの沖縄を襲い、3 ヶ月に及ぶ「鉄の暴風」は、島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し 20 数万人の尊い命を奪い去った。沖縄戦の歴史的教訓を正しく次の世代に伝えていくことは重要であり、学校及び地域における平和学習支援活動の中核となる人材を確保するため、「沖縄県平和祈念資料館ボランティア」を養成する。
- 対象者： 沖縄本島在住者で、当該講座の所定の課程を受講し、かつ、修了後は、平日、県内の学校などにおける平和に関する授業を行うことができる者
- その他： 沖縄県平和祈念資料館友の会（仮称）を発足させ、活動すること。

沖縄県平和祈念資料館友の会は、沖縄県平和祈念資料館が平成 16 年度から平成 18 年度にかけて実施した「沖縄県平和祈念資料館ボランティア養成講座」の修了生によって結成された。

同講座では各年度とも 6 ヶ月間で計 20 回程度（約 80 時間）の講座を開催している。講師として県内有識者に協力を得て講義がすすめられた。平和祈念公園施設等の概要や役割、本県の平和行政のあり方、沖縄史、沖縄戦体験談、平和教育の進め方など、その内容も多岐にわたっている。受講生たちはこれらの講義を受講後、講座で学んだ知識をもとに自ら課題を設定したレポートを作成・提出した。提出されたレポートは年度ごとに報告書としてまとめられている。3 カ年間の講座で 89 名の修了生が誕生、友の会会員として活動を開始し現在に至る。現在活動中の会員は 29 名。



2007 年（平成 19 年）6 月 16 日
展示解説開始式にて



常設展示室（第三室）ガンマ内にて
展示解説開始時のようす